

あいづばんげ 議会だより

214号

令和6年7月25日発行
福島県会津坂下町議会



ばんげの「いい顔」みつけた！

金上コミセン

オカリナ教室のみなさん

関連ページ…P14

目次 -CONTENTS-

第2回(6月)定例会	2
一般質問(10人が登壇)	7
議会の動き	13
みんなのひろば・編集後記	14

令和6年 第2回定例会

町民に寄り添い 共に前進

新庁舎建設場所再検討へ



定例会のあらまし

令和6年第2回定例会は、6月6日（木）～6月14日（金）の9日間開催しました。
改選後初めての定例会となった今回は、1日目は提出議案の説明が行われ、議案第33号を新庁舎建設検討特別委員会へ付託しました。
2日目・3日目は合わせて10名の議員が一般質問を行いました。
その他常任委員会、各特別委員会での審議が行われ、最終日は議案の審議等を行いました。

平成30年第1回定例会において会津坂下町議会基本条例の規定により議決した議案の一部である、建設場所を変更する議案（議案第33号）が提出されました。

役場新庁舎の建設場所

現本庁舎・北庁舎、東分庁舎
及び東駐車場用地
←
現本庁舎・北庁舎・東分庁舎・
東駐車場用地、又はその他の
候補地

町ではこれにより、建設場所として真にふさわしい場所について、改めて専門的な見地から比較検討したいとのことでした。

議案審議の流れ

本会議

6月6日

町から議案について提案理由の説明を受ける。
議会としては、「委員会で慎重に審議すべき」議案であるとして付託。

付託

※付託とは、議案の審査を適する委員会に任せること

新庁舎建設検討特別委員会

6月12日

議案に対する質疑の後、委員それぞれの意見を聴く。
委員長を除く13名で採決を行った結果、賛成9・反対4で委員会として可決となった。

結果を報告

本会議

6月14日

討論・採決を行う。
議長を除く13名で採決の結果、賛成10・反対3で可決

6月6日の本会議では、町からの説明を受けたのち、この件は「より慎重な審議が必要」との見解により、議案第33号を議員全員で構成される新庁舎建設検討特別委員会に付託しました。

6月12日に開催された委員会では、町に対しこの議案に対する質疑が行われました。その後、委員それぞれが意見を述べ、採決を行った結果、賛成多数で可決となりました。

委員会での結果を受け、6月14日の本会議で討論、採決を行いました。採決が行われ、賛成多数でこの議案を可決しました。

委員会での意見、及び討論の内容は次のページ通りです。

委員会での主な意見

- ・難しい問題だが、正常な議論に戻すには最善の策と考える。
- ・議決してから時間も経っている。住民の意見が変わっているの分かる。今後町から出てくる、この場合も含めた案に期待する。
- ・一度議論をフラットにするというのはいいと思う。
- ・この議案は現有地を否定するといふものではない。
- ・以前と比べ選択肢も増えた。見直しを求める町民の希望もあった。令和4年の請願の賛成多数の意思がようやく叶った。
- ・町民への疑惑を晴らすことは必要。この議案は継続審議とし、色々説明しながら進めるべきではないか。
- ・議決したものを一部変更しているのか。元の議案を無くすという議案でなくていいのか。
- ・議論を前に進めるべき。
- ・議案に町民の意思が見えないので継続審議をするべきだろう。
- ・このような議決の変更も今までのない。その他の候補地というが、厚生病院跡地だと思う。
- ・住民の幸せのために早急に進めていくべき。今後は更に煮詰まった議論をすべきだろう。
- ・議案が通れば、町民は場所が変更になると思うのではないか。議会として、町民の声を聞き、説明する時間が必要。
- ・今後、町民が納得するプロセスで決めていきたい。我々も様々な説明を聞き、判断することが必要。
- ・審議が遅れば、現庁舎は危険。審議を進めなければ。
- ・どのような結論になっても町民からの意見は出てくるだろう。我々はそれを受け止める覚悟が必要。



反対

議決を受けた土地の適否の検討を行わず、議案を提出するという執行能力を疑う。

19文字の議決内容の本質を変更するのは、議決の根幹を変更するもので断じて許されるものではない。

議案の提出の順序として、議決された議案の廃止、あるいは効力を消滅する議案を議決して、議決された議案の提案以前の状態にリセットすべきで、この手続きによらない議案そのものに瑕疵があり、反対する。 五十嵐一夫議員

賛成

今回の変更は、新庁舎建設問題に関して、混乱し、硬直した状況を打破し、正常な議論を取り戻すための第一歩であり、会津坂下町の未来にとって大きな前進であると評価し賛成する。

高久 敏明議員

賛成

建設延期から6年が経過した。今も財政は潤沢ではなく、町民の多くは「財政が厳しい」との認識だと思ふ。しかし、現庁舎の危険な状態は猶予ができないのも事実である。

不便は承知しつつ、旧坂下高校の活用なども視野にいれ、様々な観点から検討しなおす必要がある。何年も前の議決にこだわり、町民の最善の利益を失ってはならない。

小畑 博司議員

賛成

「現本庁舎・北庁舎・東分庁舎及び東駐車場用地」を否定することではなく、議論を深めるために必要な手順としてこの議案が提出された、と私は認識している。

速やかにしかるべきプロセスで議論を深め、町民にとっての理想的な庁舎の在り方について取り組んでいただきたい。

佐藤 宗太議員

請願の結果

件名	請願者	紹介議員	結果
第2号 地方財政の充実・強化を求める 意見書提出請願書	日本労働組合総連合会福島県連合会 両沼地区連合会 議長 檜山 洋明	小畑 博司	採択
第3号 「国の『被災児童生徒就学支援等 事業』の継続と、被災児童生徒 の十分な就学支援を求める意見 書」の提出を求める請願書	福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸 禎子 福島県教職員組合両沼支部 支部長 星 和雄	横山 智代	採択
第4号 国に対し「学校給食費無償化を 実施することを求める意見書」提出 についての請願（詳細はP5）	福島県学校給食費の無償化を 求める会 代表 井上 裕子・小川 憲二	横山 智代	採択
第5号 県に対し「学校給食費無償化を 実施することを求める意見書」 提出についての請願			不採択
第6号 訪問介護基本報酬の引き下げを 撤回し、介護保険料・利用料の 軽減と、基本報酬の抜本的な引 き上げを求める請願に付いて	会津の大地と健康を守る会 代表 千葉 親子	佐藤 宗太	採択

私はこちら判断！

賛否の分かれた議案

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	高久 敏明	五十嵐 孝子	目黒 克博	物江 政博	横山 智代	小畑 博司	佐藤 宗太	五十嵐 正康	青木 美貴子	五十嵐 一夫	水野 孝一	酒井 育子	山口 享	赤城 大地
同意第2号 固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
議案第31号 会津坂下町国民健康保険税条例の一部を改 正する条例	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第33号 会津坂下町役場新庁舎の建設場所についての 議決内容の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	議長
議案第35号 令和6年度会津坂下町国民健康保特別会計 補正予算(第1号)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
請願第4号 国に対し「学校給食費無償化を実施すること を求める意見書」提出についての請願	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	議長
請願第5号 県に対し「学校給食費無償化を実施すること を求める意見書」提出についての請願	×	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	議長
発議第5号 学校給食費無償化を実施することを求める意 見書の提出について	×	○	○	×	○	○	○	○	退 席	×	○	×	○	議長

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。○:賛成 ×:反対 (※退席:体調不良により) 議長は採決に加わりません。

定例会

請願第4号 委員長報告「不採択」に対し本会議で「採択」

【文教厚生常任委員会】

常任委員会で審議し、委員長を除く委員6名で採決をした結果、賛成2人、反対4人で「不採択」となりました。



【本会議】

議長を除く13名で採決した結果、賛成8人、反対5人となり、「採択」となりました。



【本会議】

請願に賛成した議員8名で意見書を作成し、発議第5号を追加議案として提出。賛成多数で可決されました。



【議会運営委員会】

請願が採択されたので、意見書を追加日程とするかを協議。議員提出議案として受付けることとしました。

請願第4号



賛成

若者の賃金は長年にわたって物価の上昇に追いつかず、先進国でも最低になってしまった。給食費の負担を軽くして欲しいのは当然ではないか。

小畑 博司 議員

賛成

文部科学省は、23年度の調査で、多くの自治体が無償化または、一部が無償化していることから、一律無償化に向け「児童生徒間の公平感の確保などについて、今後検討する必要がある」とした。私はそれを後押し、地域格差なく一律無償化すべきと考える。

佐藤 宗太 議員

賛成

学校給食費無償化は教育問題にとどまらず、「経済的負担の軽減」、「過疎対策」、「少子化対策」、「地域の活性化」など、幅広い分野にその波及効果と可能性を持っている。国として学校給食費無償化実施への請願に賛成する。

横山 智代 議員

反対

憲法26条の義務教育の無償は、学校給食を無償とするものではない。学校給食法では経費の負担について、設置者と保護者について明記されている。憲法をよりどころとしての学校給食費無償化の訴えは、憲法解釈を誤解している。素直な気持ちで国に訴えるのであれば理解するが、憲法を持ち出しての学校給食費無償化の請願には反対する。

五十嵐一夫 議員

反対

給食費を一律に全員無償とする制度は、食や給食に対する関心が薄れ、親や給食を提供してくれる多くの人々への感謝の気持ちなど、教育というものの本質を見失う可能性がある。

給食費を支払うことが困難な世帯への支援は、減免制度を適用すれば十分だと考える。

高久 敏明 議員

請願第5号

賛成

素直な気持ちで学校給食費無償化を訴えているものである。一部の国民の願いであっても、願いを届けることには賛同する。

五十嵐一夫 議員

賛成

県内の95%の自治体が何らかの形で学校給食費の保護者負担の軽減措置をとっている。同じ県内に住んでいながら給食費の負担が異なる問題が生じている。県として学校給食費無償化の実施への請願に賛成する。

横山 智代 議員

条例
**会津坂下町国民健康保険
 税条例の一部を改正する
 条例**

国民健康保険税の賦課限度額及び軽減判定所得を引き上げる改正。

反対

本議案は2024年度の国民健康保険税を引き上げるものです。もともと高すぎる国保税が、さらに高くなります。町は、国保税を引き上げない努力や軽減策の拡充を行うべきです。
 横山 智代 議員

条例
**会津坂下町工場誘致条例
 の一部を改正する条例**

条例名を「会津坂下町企業誘致条例」に変更し、対象業種の追加と助成措置の要件を緩和する改正。

人事
固定資産評価委員会委員

江花 孝氏（青津）
 任期 令和6年7月1日から
 令和9年6月30日

補正
一般会計補正額
 2億2,777万5千円

一般会計の主な補正内容は次のとおりです。

- 各地区から要望のあった町道の整備 4,110万円
- 舟渡水害防除整備工事 300万円
- 坂下南小学校の正面玄関・通路舗装改修工事 260万円
- 坂下中学校図書室の空調機交換工事 401万9千円

その他会計の主な内容は、職員
 の人事異動に伴う補正です。

会計	補正額	補正後の額
一般会計	2億2,777万5千円 ▲	81億5,424万5千円
特別会計	国民健康保	808万9千円 ▲
	介護保険	189万1千円 ▼
	後期高齢者医療	104万1千円 ▲
	坂下東第一地区 土地区画整理事業	2万4千円 ▲
水道事業会計 (収益的支出)	392万1千円 ▼	4億7,166万5千円
下水道事業会計 (収益的支出)	189万9千円 ▲	5億1,204万6千円

祝
**福島県自治功労者
 表彰受賞**

小畑博司議員が議会議員として長年の功績により、福島県議会議長会より表彰されました。

第2回定例会の開会に先だち、議長より小畑議員へ表彰状が渡されました。



第2回定例会も沢山の方が傍聴されました。

議会を傍聴してみませんか？

手続きは簡単。
受付簿に名前を書くだけ！
第3回定例会は、
令和5年度決算の
審議が行われます。



【令和6年第3回定例会日程（予定）】

9月	5日(木)	招 集 日
	9日(月)	一 般 質 問
	10日(火)	一 般 質 問
	13日(金)	決算特別委員会
	17日(火)	決算特別委員会
	19日(木)	最 終 日

※日程は変更になる場合があります。

これでいいのか！ 町政

一 般 質 問

一般質問は議員が町政全般について、現状や方針を問うものです。
一人あたりの持ち時間は答弁を含めて50分間です。今定例会では10人が登壇しました。
掲載している内容は質問者自身が要約し、広報広聴特別委員が校正したものです。
一般質問の映像を配信しております。また、会議録もホームページでご覧いただけます。

一般質問の映像
(YouTube)



会議録



問 朝立地区中山間地等直接支払交付金事業の、会計担当者による不明瞭会計処理。町の指導監督が適正になされていれば、早く不正が判明したのではないかと、町の検査が適正だったのか。

答 多額の繰越金と通帳の残高突合せをなぜ行わなかったのか。架空工事を見抜けなかったのか。工事個所の確認をどう行ったのか。

問 集落協定が保管すべき書類を確認しており、指導監督に不手際は無かったと認識しております。町のもう一步踏み込んだ検査等があれば、より早期の不正判明につながっていた可能性もあり悔やまれます。

答 地区が本来事業として受けることができた、1,600万円もの逸失利益についてどう答える。

問 不正額の返還で全額返還という事態は回避されました。町では中山間地域等直接支払交付金に関わらず、行政区が抱える課題については要望の早期実現に向けて対応します。



いがらし 一夫 議員
五十嵐 一夫 議員

補助金返還！
町の検査は適正だったのか
踏み込んだ検査不足、悔やまれる

答 猪俣公章先生を讃えよう
顕彰会の体制づくりを支援する

問 郷土が生んだ偉大な作曲家「猪俣公章先生」をたたえ、記念碑建立や、先生作曲の歌を愛好者が歌う歌謡祭を定期的で開催する考えはないか。

答 顕彰会は現在停止状態ですが、新たな体制づくりを支援し、設立当初の目標でもある記念碑建立、「歌謡祭」の開催等、ともに考え、実現に向けて支援していきます。

問 先生の愛弟子「坂本冬美様」が毎年、先生が眠る法界寺に墓参りに訪れているようだ。先生の縁を活かし坂本冬美様に親善大使、先生と絡めた歌謡祭の実施などを検討してはどうか。

答 まずは関わりを持つことが必要であり、ご家族、顕彰会の協力を得ながら関係構築に取り組んで参ります。



墓所の明示がありません



たかく としあき 議員 高久 敏明

**人口減少・多様化
ニーズに合った行政サービスを！**
行政DXの推進、自治体連携を推進し
行政サービスの維持向上を図ります

問 急激な人口減少、住民ニーズの多様化・高度化に対応した行政サービスを維持向上するため、行政DXを推進すべきと考えるが現状について伺う。

答 また、より町民に寄り添ったサービスを提供するために、地域コミュニティセンターにおいて行政手続きができるようにする考えはないか。オンラインによる行政手続きが可能となれば、多くの住民の方の利便性向上と業務の効率化にもつながると認識しており、導入に向け検討してまいります。

また、コミュニティセンターで行政手続きが行えるようになれば、より住民に近い行政サービスの場として意義があるものと認識しています。



三春町役場に設置されていた、住民票等が発行できる複合機

周辺自治体、各団体、民間企業等との連携強化について
業務の効率化と行政サービスの維持に重要であると認識している

問 今後、行政サービスの質を維持向上していくためには、周辺自治体、各団体、民間企業等と協力し、行政と民間が強みを生かし連携して住民サービスの満足度を向上させることが重要であると考えますが、現状と町の見解を伺う。

答 現在「両沼地方町村会」で災害対応の協定を締結するなど広域的な連携を進めています。今後町が直面する課題解決の有効手段である市町村連携や産学官連携について積極的に取り組み、行政サービスを維持向上させ、住民満足度の向上を図ってまいります。



ものえ まさひろ 議員 物江 政博

**配布文書が多すぎる…
時代に沿った情報提供を**
区長・自治会長の方々の負担軽減を図っていきます

問 月二回、配布する文書の量が多いのではないかと。町から区・自治会へ配布する文書については、月2回に分けて実施しておりますが以前より区長・自治会長の方々から配布回数や文書量の削減を求める声をいただいております。

答 その対応としまして、単独で発行していた文書を定期発行の町広報紙や情報かわら版へ記事をまとめることにより、文書量の削減を行っております。

今後は、町の情報発信についてLINEなどの電子媒体を活用し配布物の削減に努めてまいります。



この他にも配布文書が…

**未利用施設の利活用は
あらゆる選択肢を検討します**

問 旧坂下高校の施設は利用できないか。

答 旧坂下高校のグラウンドは、県からの無償貸与により、その維持管理をバンビイに委託し、令和4年9月からソフトボール専用コートとして活用しておりますが空き校舎の利活用は検討中であり現時点では、取得の有無も含め、その利活用方策については決まっております。

議員お質しのグラウンド以外のスポーツ施設として利活用の可能性のある施設としては、体育館・武道場・テニスコートがございます。体育館は面積は約830㎡で坂下南・東小學校、及び中学校の半分程度の広さ武道場は約390㎡で中学校武道場と同程度の広さを有しており、利活用のニーズはあるものと認識しております。



狭小な坂下町の水田



いがらしまさやす 五十嵐正康 議員

**担い手不足解消へ！
圃場の大区画化・スマート農業の推進を！
持続可能な農業経営の確立を
目指します**

問 大区画圃場が皆無の会津坂下町の現状をどのように改善していくのか。

答 作業の効率化や省力化を追求し、持続可能な農業経営を確立するためには、基盤整備は極めて有効な手段の一つであると認識しております。

大区画化実現のために、関係機関と情報共有を図りながら連携を強化し、調査・研究を重ねていきます。

問 スマート農業をどのように推進していくのか。

答 町独自の導入支援を検討していきます。

スマート農業が本町農業を将来にわたり持続可能な産業として確立するうえで、重要かつ必要不可欠な手段であると位置付け、県等の事業を活用した導入推進を図るとともに、町独自の導入支援を検討して参ります。

さらに、町内には、農業者同士が連携し、安価で使い易いスマート農業機器を開発した身近な事例もあることから、今後はアイデアを出し合えるコミュニティを創設し、坂下オリジナルのスマート農業機器の開発や導入を推進していきます。

これも質問

「会津坂下町の米の「ブランド化策」を推進しよう
町民が町のDXをいかに推進すべきか



めぐろ かつひろ 目黒 克博 議員

**投票率向上へ！
投票しやすい環境整備を
広報紙・SNSの活用と、移動式期日前
投票所の導入について検討して参ります**

問 高齢者・障がい者に優しい投票所の改善及び対策について伺う。

答 高齢者・障がい者の方が投票しやすい環境整備として、町内十六箇所の投票所において、段差を解消するためのスロープの設置、車いすの配置や車いす用記載台の配置による、バリアフリー化が必要であると考えております。

次の選挙までに対応する為、早急に全ての投票所の再点検を行い、施設改修や備品購入に着手して参ります。



未来の町消防団はどのようになるべきか

持続可能な消防団を確保するため、消防団のあり方について検討して参ります

問 年間行事等の見直しと、団員の負担軽減について伺う。

答 団員からのアンケートを実施しました。

その多くが「団員確保が困難」「休日等の行事が負担」「消防団活動の知識・技術不足」等の回答が挙げられています。これらの不安を解消する為にも、式典の縮小と災害時に必要とされる知識・技術を習得するための訓練や班域の見直し・災害時のみ出動する「機能別消防団員」の導入など、出動しやすい体制を検討し消防団活動を維持して参ります。



いがらしたかこ 五十嵐孝子 議員

低所得者の暮らしを守れ!
生活に困った時の相談先の周知は
ご相談の内容に応じ利用できる
支援の提案をしております

問 経済が悪化し続け、貧困が進んでいる。生活保護は、日本にあるセーフティネットであり、憲法に定められた国民の権利の一つである。

その生活保護を使いやすいものにするために、町民に分かりやすく情報提供はされているか。

答 現在、生活に困った際の相談窓口について、特段の周知は行っておりません。

しかしながら、社会福祉協議会や民生委員、施設や病院の相談員など、関係機関からの情報提供は、町の担当窓口である生活課社会福祉係に連絡をいただくよう情報共有がされています。



また、生活保護以外にも、借金に

関する相談であれば、無料法律相談や、今すぐに食べる物にも困っているという相談であれば、フードドライブの案内など、ご相談の内容に応じて利用できる支援の提案をしております。

町が抱える課題は庁舎問題だけではない
町民の福祉の向上のため、その他の施策にも注力してまいります

問 この町の抱える課題は、庁舎問題だけではないという有権者の声が見えるが、町の考えは。

答 町が抱える課題は、新庁舎建設だけでなく、少子高齢化の

進行、地域活動や産業における担い手不足、地域コミュニティの希薄化など様々であり、常に化する課題に対応していかなくてはなりません。町民の福祉の向上のため、その他の施策にも注力してまいります。



よこやま ちよ 横山 智代 議員

免許返納後どうしよう…
デマンドバス・タクシー運行の考えは
利用しやすい持続可能な地域公共交通体系を構築してまいります

問 高齢者が運転免許返納した後移動手段に不安、不満が多く聞かれる。デマンドバス・タクシー等の運行について町の見解を伺う。

答 町は高齢者に対するバス券の補助や、運転免許証の自主返納者へのタクシー助成券補助など、公共交通の利用促進に努めてきたところです。

現在、路線バスが通学や下校の間を中心ダイヤ編成をしているところで、通院や買い物手段として活用している高齢者にとって利用しにくいダイヤになっていると推測されます。この問題を解消するためには、日中の運行空白時間を埋める必要があり、その手段として、事前予約により運行するデマンド交通や町が独自で運行するコミュニティバスなどが考えられます。本町にとって最適な手段を検討しながら、取り組みについて調査・研究を進めてまいります。



生ごみを飼料・堆肥として利用を取り組みについて調査・研究を進めてまいります

問 家庭から出る「生ごみ」を飼料や堆肥などに利用し資源循環のまちづくりを考えられないか。

答 「生ごみ」を利用することは、地域の環境負担低減に大変意義のある取り組みと考えておりますが、「生ごみ」の特性としての腐敗しやすく保管できないことや処理施設の費用、生ごみだけの回収運搬の方法、飼料化・堆肥化した品質の確保など課題もあることから、解決に向けた取り組みと事業自体の採算性の確保について、引き続き調査、研究を継続して進めてまいります。

これも質問

町自給率向上、食料増産への取り組みは「アグロエコロジー」の普及を
 町「食農教育」「食育教育」を通じて
 農業、米の大切さの発信
 町高齢者の補聴器購入の助成と「聞こえのアンケート」の実施を



2015年に氾濫した宮川と
浸水した細工名地区



さとう そうた 議員
佐藤 宗太

異常気象!!

水害対策の考え方は

河川管理者である国や県、消防署など
関係機関と情報共有し対応していきます

問 当町における水害対策は。

答 近年の気候変動による災害の
激甚化等を踏まえ、令和4年
度に防災マップを改訂し、各世帯に
配布いたしました。また、町が管理
する準用河川等については、毎年継
続的に堆積土砂の撤去や護岸の補修
等を行い、河川断面の確保に努めて
いるところです。

なお、発災の際には、各河川管理
者へリエゾン（※1）の派遣や排水
ポンプ車の出動依頼などを行うこと
もに、町消防団も含め関係機関連携
を図りながら、迅速に対応してい
ります。

問

答

通学バス無料利用対象外児童
への通学支援の考え方は
通学路の道路改良や道路施設の
安全対策を実施し安全に通学で
きるよう努めてまいります

インクルーシブ教育（※2）
の現状と今後の取り組みは。

国が取り組んできた特別支援
教育の方針に沿って、長い間、
特別支援教育の充実に力を入れて参
りました。

現在進めている特別支援教育を一
層充実させていくことが、よりよい
インクルーシブ教育への段階的な移
行につながると考えています。

これも質問

河川DXの取り組み状況は
河川環境美化により災害リスクを
最小化する考えは

（※1）災害状況の収集や支援ニーズ等の
情報共有を図るために派遣される
職員
（※2）すべての子どもたちが同じ環境で
一緒に学ぶ教育。



おばた ひろし 議員
小畑 博司

地域計画策定に向けて

町として掲げるビジョンは

「集落の農地は集落で守る」を
基本に策定を進めます

問

物価高による生産資材や光熱
費の高騰で、農畜産業に従事
する方々の生産意欲が奪われていま
す。十年後を見据えた地域計画策定
にあたって、町としてのビジョンを
示すべきではないか。

答

集落農業を基盤とする本町に
おいては、目指したい集落農
業のあり方を、町、農業者、地域住
民が共有し、目標を実現するため
に、地域計画策定を進めています。
本町農業の主体である稲作経営を柱
に、多面的機能を将来にわたり、安
定的に維持・発展させていくという
方針の元、「集落の農地は集落で守
る」を基本に策定を進めてまいりま
す。

農畜産業への支援策と、新規
就農者の拡大策を示せ

現場の生の声を聞き、国・県・
農業者が一体となって取り組
みます

問 農畜産業を取り巻く現状を打
開し、持続的な産業とするた

答

めの支援策を示せ。また、親元就農
から新たな段階に入った新規就農者
を拡大するための施策について示せ。
国・県や関係団体と連携した
サポート態勢を強化し、指導・
助言などの支援を行ってまいります。
また、若手農業者を中心とした「次
世代農業者会」を立ち上げ、現場の
生の声を聞いてまいりました。そこ
で出された意見やアイデアを生か
し、新技術の導入、気候変動に対応
した品種更新、即戦力となる人材の
育成・確保などについて、農業者と
一体となって取り組んでまいります。



よりシャイン
農家の苗木
就農された
新規就農者
に付された
新マスカット

これも質問

2050年に向けたゼロカーボン
策を示せ

河小学校や幼稚園・保育所の今後の
展望は

河中学生の部活動の広域支援を



さかい いくこ 議員 酒井 育子

超少子化!

小学校統合の考えは

しばらくは、現状の教育施設を維持する考えです

問

平成29年から出生数の下降・減少が続き、令和5年度には、41人と未来に大きな危機感を抱いている。統合によって切磋琢磨とすこやかな成長と喜び・生きがいを感じることのできる教育環境づくりが重要だと思うが、後期振興計画に入れるべきではないか。

答

学校運営や施設等の諸問題も多くあり平成25年に統合し、11年が経過しました。子ども達は慣れ親しんだ教育環境で学習しております。

統合の検討を始めるには、複式学級・クラス替えが出来ない規模というガイドラインがあります。

今後の移住定住施策による効果と人口動態等を注視しながら、地域の将来像を全体的に構想して参ります。



問

子育て中の保護者の負担を軽減するためにも、政策形成、各種施策の取り組みの転換が重要と考えられる。

答

「認定こども園」へ移行し、幼児教育を一体化することで、保護者負担の軽減をする考えはないか。

令和7年度から5年間を計画期間とする「第3期会津坂下町子ども子育て支援事業計画」の策定中であり、保護者のニーズを把握し、負担軽減を含めた安心して健やかに子どもを産み育てられる環境整備を実施して参ります。



これも質問

円若者移住施策の基本的な方向性は、旧越後街道・北裏通りの整備の方向性は

町を離れても故郷を想う 会津坂下会総会に参加しました



6月2日(日)に東京都千代田区にある「主婦会館プラザエフ」において総会が開催され、5年ぶりに議会として参加してきました。総勢75名で、終始和やかな雰囲気で行われました。

最後には全員で会津磐梯山が流れる中、会場一杯に広がって盆踊りを踊り、幕を閉じました。



学ぶ 議会の見える化のために

福島県町村議会議長会主催広報研修会

7月2日(火)、福島市のとうほう・みんなの文化センターで広報研修会が開催されました。



読んでもらえる、分かりやすい「議会だより」を作るには、読者を引きつける見出しや写真が大切であることを勉強してきました。

これからも、議会の見える化と住民の方々との信頼関係をつくっていくため、研修会



で学んだことを「議会だより」に活かしていきます。



議会の動き

新庁舎建設の議論を深めるために

新庁舎建設検討特別委員会



第1弾 旧庁舎跡地を利用した庁舎

議会として改めて新庁舎の場所の争点を探るべく、5月20日、庁舎を同じ場所に建て替えた、三春町と埴町を見学してきました。

三春町役場庁舎

滝桜で有名な三春町、人口も1万6千人程度で会津坂下町と同規模です。

新庁舎は令和3年3月に完成しました。総工費は18億円であり、町の防災拠点として機能的で誰もが利用しやすく、働きやすい庁舎でした。特に町の身の丈に合ったコスト削減に配慮した庁舎と言えます。

また、議場は多目的に利用するため、フラットで開放的な造りでした。



埴町役場庁舎

5月7日に開庁したばかりの県内で最も新しい庁舎です。

浸水想定区域に位置しています。が、隣接して町防災センターや、農村勤労福祉会館があるため、庁舎施設が分散しないように選定されたそうです。総額18億円程度ですが立派な庁舎でした。

議場は議会時のみ利用するそうです。



第2弾 郊外に場所を移した庁舎

今後、場所を変えて建設した、会津美里町庁舎と旧庁舎跡地を見学し、それぞれの特徴を調査研究する予定です。

議会・議員の変革を求めて

議会改革特別委員会



議会改革特別委員会は4月5日の初議会で設置されました。

4月30日に赤城議長から、横山委員長、佐藤副委員長に議会改革に関する諮問書が手渡されました。(内容は下段)

5月27日に行われた委員会では、議員報酬の改定が必要な理由として、全国的に町村議会議員のなり手が不足している事、また、議員活動は町民を代表しその意志を町政に反映する事であり、ニーズが多様化し課題も多岐に亘っている近年、議員一人当たりの負荷は増加している事などの説明がありました。

議員報酬を取り巻く現状

- ・全国的に議員のなり手不足が問題となっている。
- ・会津坂下町の議員報酬は平成9年以降改正されていない。

諮問とは：

意見を聴く事。聞かれた委員会には調査を行い、議論を経て意見を答申として報告します。

適切な議員報酬、議会運営および議員の資質向上に関する検討すべき諸課題について調査研究をしていきます。

議長からの諮問内容

1. 令和6年1月24日付の特別職報酬等審議会答申についての町長報告書における議会議員報酬に係る報告内容についての調査研究ならびに協議及び意見集約
2. 議会運営及び議員の資質向上に関する検討すべき諸課題についての抽出列举

答申期限 令和6年第3回定例会

最終日



議長より諮問書が渡されました

MINNA NO HIROBA
みんなのひろば

金上コミセン
オカリナ教室
「楽しみながら上達」を目指して…



ばんげの「いい顔」みつけた!

今回は目黒副委員長が取材しました。皆さんもオカリナ教室でほのぼのとした「癒しの時間」を味わってみませんか？ 今後もばんげの「いい顔」を見つけに広報広聴委員が伺います！



金上コミュニティセンターで月曜日（中級クラス）と木曜日（初級クラス）に活動しています。

オカリナは土で作られた、優しく温かみのある素朴な音色の楽器です。息を吹き込めばすぐに音が出るので、始めやすい楽器だと思います。

メンバーの皆さんと懐かしい昭和歌謡曲や唱歌、季節の童謡などを練習しています。

楽譜が読めない、楽器をやったことが無いところから始められた方もおります。

音符を読み、リズムを考え、オカリナの指運びを考えて、とてもいい脳トレになっています。

今までは聞いて楽しんでいた音楽が、自分で演奏ができるようになる喜びはひとしおです。

少し難しい曲もメンバーの皆さんと励まし合いながら、和気あいあいと楽しい音楽の時間を過ごしています。

「楽しみながら上達」を目指して、これからも皆さんと頑張っていきたいです！

（オカリナ教室講師 伊賀美樹さん）



編集後記

近年、猛暑・大雨・洪水・竜巻等、世界中から多くの異常気象のニュースが届きます。

日本でも、記録的な大雨や洪水が続いたと思えば、今度は40度に迫るような熱波、猛暑…。過去の経験から大きく外れた現象が起き、国内全ての産業に影響を与えています。

この異常気象の中で我々は時代・環境の変化に対応する力と工夫が求められています。

議会と町が両輪となり、様々な時代・環境に感じられるまちづくりのために邁進して参ります。

皆さまの声を聴かせてください。

（目黒克博）

広報広聴特別委員会

- 委員長 山口 享
- 副委員長 目黒 克博
- 委員 五十嵐孝子
- 委員 物江 政博
- 委員 佐藤 宗太